

# ダムの目的・役割

## ダムの役割（FNAWIPR）

「ダム」には、水害を防ぐために洪水調節を行う（F）、流水の正常な機能の維持（N）、農業（A）・上水道（W）・工業（I）などのために水をためて使うことや、発電（P）と、いろいろな役割（目的）があります。また比較的新しい目的として、レクリエーション（R）も加わっています。その目的を示した記号が“FNAWIPR”で、アルファベットそれぞれがダムの目的を意味します。1つのダムでも、複数の目的を持ったダムを「多目的ダム」と呼んでいます。〈国土交通省 HP ダムコレクションより〉



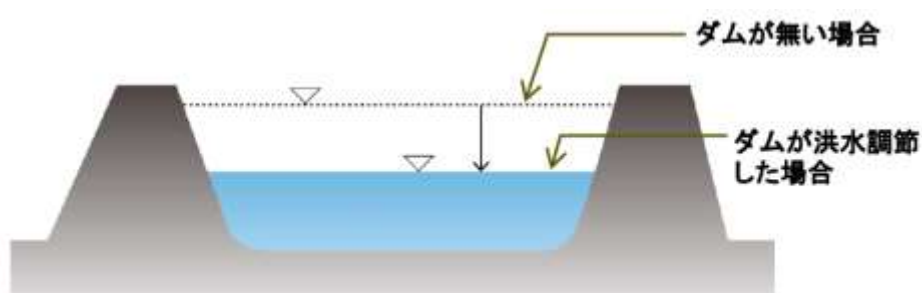
笛吹ダム（FNI）（所在地：松浦市）  
長崎県で唯一、工業（I）の目的を持ったダムです。

## 洪水調節機能（F）について

F：洪水調節は、大雨の際に上流の水をダムにためて、下流に流す水の量を調節することで、川が増水してあふれることを防止または軽減します

下流の水位を下げることで堤防が決壊するリスクを下げます。〈国土交通省 HP ダムコレクションより〉

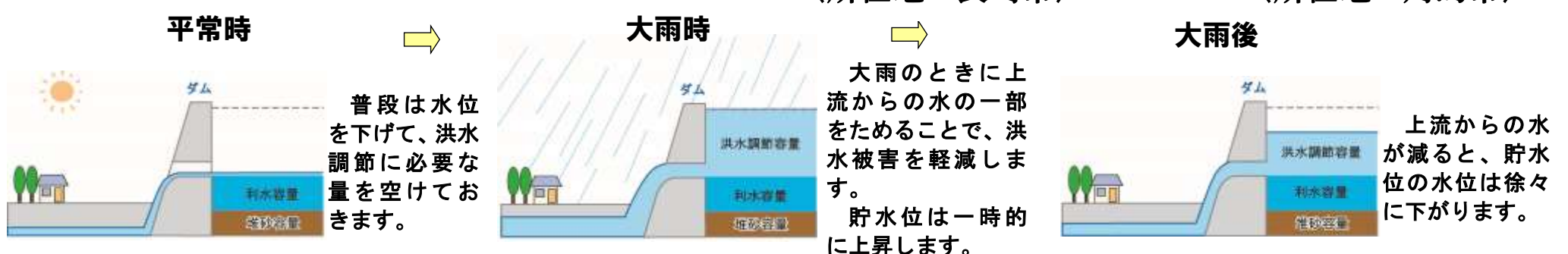
洪水調節を行い、下流に安全な量の水を放流するためのダムの穴を洪水吐きといいます。洪水吐きには、ゲートが付いているものと、付いていないもの（ゲートレス）があります。ゲート操作による放流量の調節を行わないダムを自然調節ダムといい、長崎県のダムの多くはこれにあたります。



（ゲートダム）神浦ダム  
〈所在地：長崎市〉



（ゲートレスダム）仁田ダム  
〈所在地：対馬市〉



洪水時のダムの働き（イメージ）